

温暖な地域・寒い地域・高地の暮らし

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州

今日の問い

温帯や寒い地域、高地の人々は、どのように暮らしているのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 温暖な地域と寒い地域

温帯と冷帯

ちゅうかいせいこう
地中海性気候

夏に雨が少なく乾燥し、冬に雨が降り多量の気候。

タイガ

冷帯(亜寒帯)に広がる、針葉樹の森林。

えいきゅうとうど
永久凍土

一年中こおったままの土。

地中海沿岸などの地中海性気候の地域は、夏に雨が少なく乾燥し、冬に雨が降り多量の。強い日差しをさえるため、石づくりで白いかべの家が見られ、乾燥に強いオリーブやぶどうが栽培されている。ヨーロッパ西部は、高緯度のわりに冬も暖かい西岸海洋性気候である。

冷帯(亜寒帯)のシベリアなどは冬の寒さがきびしく、タイガとよばれる針葉樹の森林が広がる。地下には一年中こおったままの永久凍土があり、建物の熱で凍土がとけて建物がかたむかないよう、高床の建物が見られる。

寒帯の北極海の沿岸では、カナダ北部などのイヌイットが、あざらしなどの狩りをして暮らしてきた。シベリアの北部などでは、トナカイを飼って暮らす人々もいる。

2 高地の暮らし

高地

こうざんきこう
高山気候

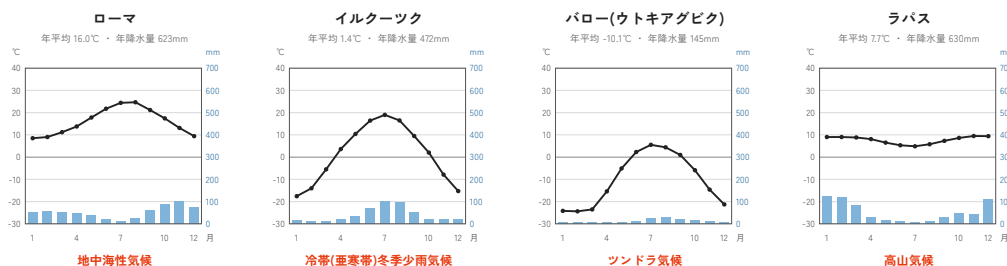
標高が高いため、同じ緯度の低地より気温が低い気候。

リャマ

アンデスの高地で飼われる、らくだのなかまの家畜。

南アメリカのアンデス山脈の高地は、赤道に近くても標高が高いため、一年中すずしい高山気候である。一年を通して気温の変化は小さいが、昼と夜の気温差が大きい。下の雨温図のラパス(観測点は標高約4000m)は、南緯約17度にあるが、年平均気温は約8℃である。

人々は、リャマやアルパカを放牧し、リャマは主に荷物の運搬に、アルパカは主に毛をとるために飼ってきた。標高の高い所ではじゃがいも、それより低い所ではとうもろこしが栽培されている。寒さや気温差にそなえ、毛織物のポンチョを着る。



気温(折れ線・左の目もり)と降水量(棒・右の目もり)。どの都市も同じ目もり。1991~2020年の平年値(気象庁ほか)。

問いへの答え

地中海性気候の地域では、乾燥に強いオリーブやぶどうを育て、石づくりの家に住んでいる。冷帯のシベリアでは、永久凍土がとけないよう高床の建物をつくり、寒帯ではイヌイットなどが狩りをして暮らしてきた。アンデスの高地では、リャマやアルパカを放牧し、じゃがいもなどを栽培している。どの地域でも、気候に合わせた工夫が見られる。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

